



平成25年度

施政

方針

地方自治体は、市民に最も身近に接する行政体として、様々な方にお会いし、声を聴くことで、それぞれの方の日常生活を知り、その方のそれぞれの悩み、あるべき課題の多様さ、複雑さを感じるものであり、それらに対し、ひとつひとつに、丁寧に対応していかなければなりません。

そのためには、常に身を律し、行政改革の不断の実行や情報公開を行うなど市民の皆様方に信頼感の持っていたいただける行政運営を心がけ、知立市民のために、知立市の皆様方がそれぞれの幸せ、喜びを見つけていただくことができる環境づくりのために、着実に諸施策を推進してまいります。



知立市長 林 郁夫

■市民参加のまちづくり
知立に住む方、集う方、関係各位全ての皆様方におかれましては、今後とも家庭のように家族のような、『輝くまち、みんなの知立』の実現にご協力をお願いします。

■安全で安心できるまちづくり
犯罪発生率を下げるため、民間駐車場の防犯カメラ設置補助、防犯関連物品購入補助などをはじめ、交通事故撲滅に向けての様々な啓発活動を引き続き行うほか、路側帯などの明瞭化、交通安全施設の設置などを行ってまいります。

■本年度は、とりわけ、防災対策に更に力を入れてまいります。新たに防災協定を締結した鯖江市や魚津市などとしつかり連携していくとともに、今後も様々なかたちで、他県の自治体と提携ができればと考えております。

■子育て支援に関する取り組み
子どもの生きる力を育む、個性を伸ばしていく、ひとりひとりにしっかりと向き合うことのできる学校教育環境づくりを行ってまいります。

■小学校4年生までの35人学級、きめ細やかな教育を行うための教員配置に加え、本年度より、各小学校に子どもサポート教員を配置するとともに、各学校において、特色のある学校づくりをしていくため、『魅力ある学校設計事業』も始めていくところでもあります。

一方、未就学児童などに対するの取り組みとして、本年度より、いよいよ、子育て支援センター併設の南保育園が開設するほか、平成27年度供用開始に向け、療育施設併設の子育て総合支援センターの設計にも着手してまいります。

■福祉への取り組み
一人ひとりの尊厳を重んじ、人と人とのつながりを基本として、困ったときに助け合う『顔の見える関係づくり』、また、お互いを認め合い支えあう『共に生きる社会づくり』のための仕組みをつくるため、まさに、家庭のように家族のような環境をつくるのが肝要であると思っております。

■環境に関する取り組み
一昨年、環境美化推進条例を施行いたしました。また、本年度は、不法投棄多発箇所を重点的に、監視カメラの設置も図っていくところであります。環境施策につきましても、そうした身近な課題への対応と併せ、地球レベルでの環境施策についても引き続き講じていくところであります。

■健康に関する取り組み
健康であることは、全ての皆様の願いであります。様々な検診や予防接種を受けていただくこととあわせ、自分を取り巻く地域社会が、自分の家庭のような家族のように感じている

ただき、様々な生涯学習活動、市民活動、ボランティア活動などをしていただけるような環境づくり、雰囲気づくりを推進してまいります。

■まちの活力づくり
現在、100年に一度のまちづくりとして、鉄道連続立体交差事業をはじめとする知立駅周辺整備事業を推進してまいります。

今後、『暮らしやすく、集いたくなる、輝きあるまち』を目指し、定住人口、交流人口を、より増大させるべく、関係各位並びに、多くの皆様方からのご意見などをいただきながら、着実に進めてまいります。

まちの活力は、市民ひとりひとりの活躍により、なされていくものであり、まちづくりにそれぞれのお立場で参加ができる、活躍できる、そのような環境づくりに努めてまいります。

■他の自治体と連携しての行政運営
多様化する行政課題、厳しい財政運営などを鑑み、これからも、より効率的、効果的な行政運営をすべく、他の自治体と連携しての行政運営を積極的に進めてまいります。

※市ホームページの「市長心接室」に全文を掲載しています。

